

手をつなぎ、たくさんの目で 子育てをしていこう

子どもにいい影響を与える地域交流。
子どもが笑顔でいられることは
地域の輝きにもつながる。



(前列右から)石田美和さん、平岡和徳教育長、今泉京子さん
(中段右から)廣岡睦美さん、田上美智子さん、田中友里さん
(後列右から)藤本直子さん、甲斐高子さん

写真中央は田中友里さんがグラフィックレコーディングと呼ばれる会議や対話の内容を絵や図などで表現する記録方法で記録したものの。ホームページにも掲載中。



母と教育長が地域で子育て
することについて意見交換



地域とのつながりが
もたらすもの

母たち 通学路に立つ地域の方
が、「おはよう」、「車に気を
つけて」までを日常にしてくれ、
温かく見守ってくれています。
とてもありがたいですね。

教育長 地域と学校が幾重にも
重なるように関係を構
築し、たくさんの大人の目で見
守りながら寄り添っていくこと

が大切です。子どもたちの未来
に触れることが多い地域や学校
が、子どもたちの成長を後押し
してくれます。

母たち 「子どものため」となる
と皆さんとても協力的
です。地域の人たちに自分の祖
父母のような温かさを感じま
す。「子どものため」という思い
が地域を変えるのではないかと
も思います。

教育長 今、学校では「開かれ
た教育」が重要視され
ています。地域と共にある学校
づくりがテーマになっているん
です。大人たちがそれぞれの役
割の中で、できることをする。
その歩み寄りが地域活動です。
1軒1軒、家の距離は遠くても、
心と心はつながっているという
関係が市全体に広がっていくこ
とが大事ですね。

**地域との交流で
子どもたちを笑顔に
母たち** 今では地域の方が自然
に学校へ来ている光景

が当たり前になっていきます。
町でボランティアの方に出会っ
たときには、子どもたちも声
かけます。地域の方と触れ合う
ことで、コミュニケーション力
も上がっているような気がしま
す。地域の方との交流は、大人
になっても自慢になりますよ
ね。地域の方に褒めてもらえる
ことで自己肯定感も上がってい
るのではないのでしょうか。

教育長 とても重要ですね。人
を作るのは自信を育て
る作業。大人の声掛けが自己肯
定感を高め、自分や仲間、家族
を大事にしようというエネル
ギーを発し、子どもたちは生き
生きと目を輝かせます。地域が
笑顔で輝くことで子どもたちの
未来がもつと良くなり、共に進
化できます。人が集まることで
笑顔が生まれます。そこには交
流が必要ですね。

母たち そこには当然障がい
を持つ子たちも含まれま
す。周りの子たちと地域の中
で育つ社会が、共生社会を作るの

ではないでしょうか。

教育長 以前、娘のクラスに難
聴の子がいて、クラス
全員が手話ができるようになっ
たことがあります。より良く
生きるための集団化された組織
では、人のことをリスベクトす
ることができません。幼い頃から
認め合いながら互いの個性を尊
重し合う環境づくりのために先
生方も努力しています。家庭と
学校と地域で三位一体となって
子どもの未来を耕していかなければ
なりません。

母たち 地域を知ることが安全
にもつながりますよ
ね。この町に住み、育っていく
ことを考えると、近所を知るこ
とは大事です。また、親以外の
大人が叱ってくれたり、周りの
人が声掛けしてくれることもと
てもありがたいですね。

**子どもが笑顔で地域と共に輝
き続ける未来のために、「つな
ぎ・支え・見守る」この手で地
域の宝を育てていきたいと思います。**